

はじめに

ここに、平成23年度を初年度とする、向こう3カ年の小牧市総合計画実施計画を策定しました。この計画は、第6次小牧市総合計画（平成21年度～平成30年度）に掲げる将来都市像「人と緑 かがやく創造のまち」の実現に向け、諸施策の具体的な内容を明らかにし、計画的・効果的なまちづくりを推進するために策定したものです。

第6次小牧市総合計画では、各施策においてその達成度を計るために、目標を数値化した指標を設定しています。

そのため、本実施計画書でも、施策ごとに現状や今後の目標を数値化した指標を設定しています。この指標により市民の皆様の声を反映しながら事業の進捗や目標を明確にしています。

さて、世界的な金融危機の影響が依然として続き、企業収益は改善しているものの、景気はこのところ足踏み状態となっています。

また、景気の先行きについても不透明な状況にあり、更なる景気の下振れリスクが懸念されます。

一方で、少子高齢化の進展など社会構造の変化や高度化・多様化する市民ニーズへの対応など地方公共団体を取り巻く環境は非常に厳しい状況であります。

こうした中、本市においては、限りある財源を真に市民の皆様が求めるサービスに重点的に配分するなど、より一層効率的で効果的な行政運営を図るとともに、本市の特性を活かしたまちづくりを推進する必要があります。

このため、事業の実施においては、中期的な財政見通しを踏まえた上で、行政評価を活用するなど、まちづくりの目標や基本施策の目指す姿に対して有効な事業を選択し、本市の将来像の実現に努めてまいりたいと考えております。

なお、この計画は、国の政策動向や不透明な経済情勢などにより、本計画で見込んだ財源への影響が懸念されますが、あくまで現在の制度に基づいて策定したものであります。

したがいまして、今後の状況の変化に対しましては、予算で対応することとします。

関係機関はもとより、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成22年11月

小牧市長 中野直輝